

(2) ショットガン湛直（打ち込み式代かき同時直播栽培）

ア 適地

土壌条件：強粘土や排水不良田は不向き

イ 作業方法

- ・ほ場準備（秋耕・春耕）

秋耕や畦塗り、春耕などでほ場の砕土性を高めておくことが必要である。

稲株や、麦わらなどが多く残っていると、播種の妨げになりますので腐熟に努める。

- ・作業行程

播種前日数	播種前日数			播種後日数				
	6	1	0	7	10			
作業内容	尻水戸作成	入水	浅水荒代か	同時播種	自然落促進	発芽揃い	入水	除草剤散布

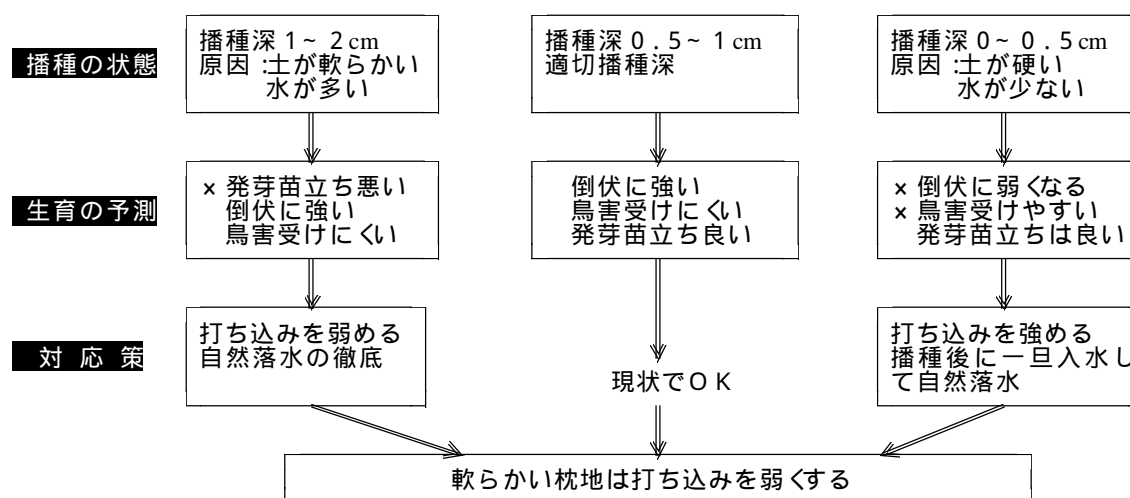
種子は塩水選・浸種・催芽したものを、前日に、規定量をカルパーコ・ティングする。

ウ 留意点

- ・荒代かきは、前日か当日の播種前に実施する。
- ・播種前の荒代かきは通常の代かき状態のマイナス1回の状態に仕上げる。
- ・播種当日はひたひた水程度に調整する。
- ・枕地は一般的に軟らかくなっているため「打ち込みを弱く」する。
- ・播種後は無湛水管理し、出芽が確認できた後に入水します。
- ・その他は普通の直播栽培と同じである。代かきは「浅水代かきのページを参照」。

機械の設定

代かきの仕上がり具合に合わせて、下記により播種時の打ち込み強度を調節する。



エ 特別に必要な作業機

- ・打ち込み式代かき同時播種機（播種と同時に施肥できる機種もある）
- ・トラクタは水田ハローが取り付け可能なもので、重心のバランスや能力から、10条播きで最低45ps級以上、6条播きで25ps級以上が必要である。

オ 慣行直の播種作業との比較

代かき後の管理は通常のすじまきの直播作業と同じである。下記に参考例として播種時の基本データを紹介する。

平成13年 湖南普及センター調べ

品種：コシヒカリ ほ場：中主町

播種設定

条間30cm × 株間20cm 間隔

1カ所8粒播きで、乾燥籾 約3kg / 10a

発芽率

上記設定で、2mの筋上に72粒が播種され、調査では50粒が発芽した（発芽率：69%）

播種法と10a播種量	苗立数 m ²
慣行直播 3kg 播き	68本
2kg 播き	44本
代同時直播 3kg 播き	81本
2kg 播き	50本

濁水軽減技術としてのポイント

慣行のすじ播き機による湛水直播栽培は、代かき数日後に播種するが、「代かき同時播種機」は仕上げ代かきと播種が同時であるため、代かき前後の水管理が慣行の湛水直播栽培に比べて容易なことがポイントである。



写真 - 23 代かき同時播種作業の風景



写真 - 24 播種後の無湛水状態



写真 - 25 播種後30日後のほ場の状態

(参考) 打込式代かき同時直播機 (ショットガン直播機)

機械の概要

播種装置は、トラクタアタッチの水田ハロー後部に取り付ける。播種作業は代かき作業と同時に行い、播種ロールにより繰り出されたカルパーコーティング種子を、高速回転する打込みディスクにより、田面へ点播状に打込む。

濁水流出軽減効果

浅水 1 回代かき時に同時播種を行うため、濁水流出軽減効果が認められる。

機種概要

水田ハロー (180 ~ 270cm) にセットする (6 ~ 9 条播)。

作業方法

水田ハローによる浅水 1 回代かき作業に準じて行い、代かき作業時に播種作業を行う。

その他

- 1) 全層施肥 (春に乾田状態で施肥を行い、ロータリで攪拌) が前提となる。
- 2) 側条施肥が可能なユニットが、特注で販売されている。

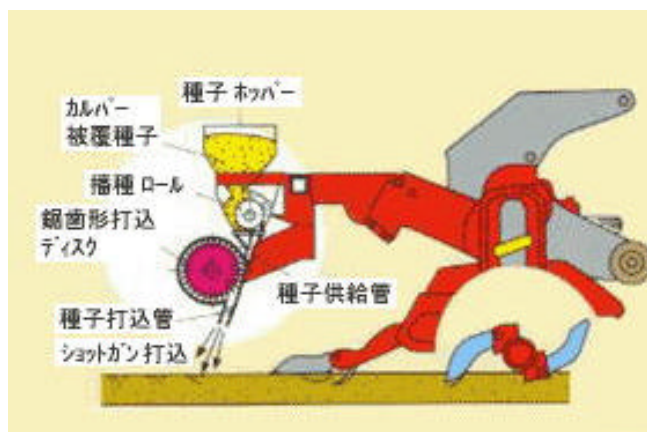


図 - 15 打込式代かき同時直播機の概略図